

# 平成29年度 事後事務事業評価シート

事業名	商工業振興事業		担当課・グループ	作成者（職・氏名）
			産業経済課・経済グループ	主幹 中村 真吾

## 1 基本事項

事業区分	事業開始年度	平成28年度	事業主体	会計区分	予算科目			
	事業終了年度	平成32年度	町	一般	7	1	1	526
事業の性質	法令に基づかない自主的事業			条例等の有無	有			
根拠法令・例規計画等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・厚真町商工業経営強化促進補助金交付要綱</li> <li>・厚真町雇用拡大奨励金交付要綱</li> <li>・厚真町職住近接奨励金交付要綱</li> </ul>							
総合計画	基本目標	みのり豊かなあつま						
	基本施策	商工業の振興						
	施策項目	商工業活性化への支援						
	※総合戦略							

## 2 事業概要 (Plan)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・厚真町商工業経営強化促進補助：商工業者が自ら行う積極的かつ創意工夫を凝らした取組に支援し、本町商工業の振興、活性化を図る</li> <li>・厚真町雇用拡大奨励金：地元雇用の場の確保及び拡大を図る。</li> <li>・厚真町職住近接奨励金：人口減少対策及び就労環境改善支援。</li> </ul>
事業の内容 (手段・方法等)	<p>厚真町商工会と連携し、町内の既存事業所の設備の近代化や情報化対策、環境整備、雇用拡大、勤労者の就労環境改善などに対して採択基準に基づき補助金・奨励金を交付する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・厚真町商工業経営強化促進補助：対象経費の1/2以内 25万円～上限200万円</li> <li>・厚真町雇用拡大奨励金：雇用1人増につき30万円</li> <li>・厚真町職住近接奨励金（※）：対象経費の2/3以内 上限20万円</li> </ul> <p><small>町外に住んでいる従業員が町内に転居する際に、事業者が当該従業員に支払った転居費用等を補助</small></p>
対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商工業者（商工会法及び中小企業法）で厚真町において1年以上営業している者。</li> <li>・町税を滞納していない者</li> </ul>
成果目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商工業の振興、活性化を図るとともに、町内企業数の維持と地域マーケットの縮小を阻止する。（平成32年度末時点の町内小規模事業者数を155事業者以上とする。）</li> <li>・雇用拡大を図る。（平成32年度末時点の当事業による累積雇用者数を15人とする。）</li> </ul>

## 3 実施結果 (Do)

### ① 事業費

単位：千円

事業費の推移		26年度実績 <small>(評価対象前々年度)</small>	27年度実績 <small>(評価対象前年度)</small>	28年度実績 <small>(評価対象年度)</small>	29年度予算 <small>(評価実施年度)</small>	適用
総事業費		0	0	10,332	13,400	
事業費		0	0	9,932	13,000	
特定財源	国・道支出金			0	0	
	町債			0	0	
	その他			0	0	
一般財源				9,932	13,000	H29.6補正：6,500千円
人件費（@4,000*時間数）				400	400	事務事業時間配分計算表（別紙）により算定
事業費の主な内訳	旅費					
	需用費					
	役務費					
	委託料					
	補助金			9,932	6,500	

② 実績・成果

指標名称			26年度(実績)		27年度(実績)		28年度(見込)		32年度	
			(評価対象前年度)		(評価対象年度)		(評価実施年度)		(目標年度)	
			数値	単位	数値	単位	数値	単位	数値	単位
主な活動指標	補助件数 (毎年度6件の補助を目標とする) (32年度目標数値は累積数値)	目標					6	件	30	件
		実績					7	件		
		達成度		%		%	140	%		%
	※数値化できない活動内容や指標の変更等について記載する									
主な成果指標	商工業者数 (小規模事業者数)	目標					155	事業者	155	事業者
		実績			155		160	事業者		
		達成度		%		%	103.22	%		%
	※数値化できない成果や指標の変更等について記載する									
主な成果指標	雇用拡大奨励金活用による雇用者数 (毎年度3人の雇用増を目標とする) (32年度目標数値は累積数値)	目標					3	人	15	人
		実績		者		者	0	人		
		達成度		%		%	0.00	%		%
	※数値化できない成果や指標の変更等について記載する									

4 事業の評価 (Check)

評価項目	評価の視点	評価結果	説明
妥当性	実施主体・目的・対象・手段等は公平かつ妥当か?	A	商工業の活性化や雇用の促進を図る上で、積極的な支援は妥当である。 採択基準に基づき厳正に審査しているため公平である。
有効性	期待された成果が得られたか?	B	事業者数に関しては、目標事業者数を上回った。 雇用者数に関しては、補助実績として数値には表れなかったものの、当事業を活用した雇用が1名あった。(H29年度補助予定)
効率性	コスト面からみた費用対効果は適正か?	B	補助・奨励金の全額が、町一般財源で多額の経費がかかっているが、当事業により本町商工業の振興、活性化を図れるとともに雇用拡大を促進している。H28年度については、概ね目標数値が達成されている。

※評価結果は、A：妥当である B：概ね妥当である C：あまり妥当でない D：妥当でない で評価する

5 今後の方向性・課題・改善提案等

予算	継続(現状維持)	サービス	継続(現状維持)	方向性	現状維持
理由	地域経済の低迷や価格、品揃え、サービスに関する競争が激化し、当町においても他地域への消費の流出が進み、地域のマーケットが縮小している状況である。こうした中、事業所が持つ高度な技術・ノウハウを生かしつつ、事業所の維持や町外からの顧客を獲得できる優れたビジネスモデルの開拓に資する支援が求められている。 平成28年度については、目標数値を概ね達成し、事業初年度として大きな成果を上げたことから引き続き実施すべきと考える。				
課題および改善提案	補助対象者の今後の経営状況を注視し、当事業の効果が最大限発揮されるよう、状況に応じて厚真町商工会と連携し対象者に対し指導及び助言出来る体制づくりが必要である。				

※予算・サービスは「継続(拡大・現状維持・縮小)」および「終了」から、方向性は「拡大」「現状維持」「縮小」「終了」から選択。

6 評価 (本欄は、理事者ヒアリング・内部評価委員会で使用するため事業担当課は入力しないでください)

予算	継続(現状維持)	サービス	継続(現状維持)	方向性	現状維持
意見	-				

7 外部評価委員会評価結果

予算	継続（現状維持）	サービス	継続（現状維持）	方向性	現状維持
附帯意見	-				
その他意見	-				

評価に対する町の考え方

意見なしのため記載なし